

株式会社 輝楽里（北海道江別市）

組織の概要

- 江別市美原の7戸の農家がひとつになり、H18年に設立
- 約20品目の生産物を札幌近郊の量販店に直接販売
- 有機資材を活用した土づくりに積極的に取り組み、減化学肥料・減農薬を実現
- 耕耘・播種から刈取、乾燥・調整までの機械化一貫体系の導入により生産コストを低減



生産概要

- 作付面積：水稻45ha、小麦25ha、大豆22ha、スイートコーン21ha、ブロッコリー・キャベツ・レタス・白菜31ha、玉葱10ha、アスパラガス10ha、採種ビート4ha、大根3ha、にんにく3ha、ビニールハウス50棟（ピーマン、オクラ、ミニトマト、生姜、キュウリ、スイカ、長ネギ、育苗用）（R2年）
- 自社工場にて大豆、米、小麦、にんにくを味噌や黒にんにくに加工販売



取組のポイント

<先進的な営農技術の導入>

- 資材コストの削減等を目的とした**土壌診断**に基づく施肥施用
- 大豆生産において**密植栽培**を実施し肥料散布回数を通常3回（播種前施肥1回、追肥2回の計3回）から播種前施肥1回のみへ減少させ、労働時間の低減を目指す
- 有機質資材の積極的施用と施肥作業時間の削減

<生産性向上に向けた機械の導入>

- 排水改良を目的としたサブソイラによる**心土破砕**
- 高度湿害対策としてカットドレーンの使用



<団地化に向けた取組>

- 社内の各作物担当者による部門会議を開催し、大豆、小麦、野菜の輪作体系について話し合う。
- 転作田を団地化し、**ブロックローテーション（大豆→水稻→小麦→野菜→野菜）**を導入予定。

取組成果

<大豆生産の高位安定化を実現>

- 団地化率
21.0% (R2) → **52.4% (R3)** (R5目標：84%)
- 作付面積
22.3ha (R2) → **18.1ha (R3)** (R5目標：25.7ha)
- 単収
281kg/10a (R2) → **322kg/10a (R3)**

<省力化による農業所得の確保>

- 生産コスト
81,000円/10a (R2) → **77,000円/10a (R3)**
- 労働時間
27h/10a (R2) → **26h/10a (R3)**

